
リコールリクエスト

Note

このページでは、リコールリクエストの処理方法について説明します。リクエストがAlmaシステムに入力されるさまざまな方法からスキャンと最終処理に至るリクエストのワークフローの完全な概要については、[リソースリクエストのワークフロー](#)を参照してください。

フルフィルメントに関するすべての主な文書ページへのリンクは、[フルフィルメント](#)をご覧ください。

アイテムがユーザーに貸与されているときに、そのアイテムに対してリクエストが行われると、元の貸与に対してリコールリクエストが作成される場合があります。リコールプロセスは、[貸与リコール設定](#)（[\[設定メニュー\]](#) > [\[フルフィルメント\]](#) > [\[冊子フルフィルメント\]](#) > [\[貸与リコール設定\]](#)）が送信されたリクエストタイプのリコールをアクティブにするようにセットされている場合に開始されます。

Note

次に、貸与の貸与TOUで次のポリシーを調べて、実行するアクションを決定します。詳細については[利用規約の設定](#)および[貸与リコールリクエストの構成](#)を参照してください。

- **リコール可能** - このポリシーが真にセットされている場合、元の貸与ステータスはリコール済みに変わり、元の貸与の期日に変わります。リコール可能が偽にセットされている場合、貸与ステータスはリコール済みに変わりますが、期日は変わりません。[リコール可能](#)を参照してください。
- **リコール期間** - リコール期間ポリシーは、期日の変更方法を決定します。期日がポリシーの日数より前にすでに期日が切れている場合、期日は変更されません。[リコール期間](#)を参照してください。
- **リコールされた延滞罰金** - リコールされた貸与には、異なる延滞罰金が適用される場合があります。このポリシーは、罰金（ある場合）を決定します。罰金は期日変更とは無関係であり、リコール可能が偽にセットされていても適用されます。[リコールされた延滞罰金](#)を参照してください。
- **リクエストされたアイテムの期日** - 列に既に追加のリクエストがあるアイテムを貸与する場合、短縮された期日を指定できます。[リクエストされたアイテムの期日](#)を参照してください。
- **キャンセルされたリコール期日** - 貸出されてからリコールされたアイテムについて、リコールがキャンセルされた場合、このポリシーは元の貸与の期日に何が起きるかを決定します。[キャンセルされたリコール期日](#)を参照してください。

複数のコピーが貸与されているアイテムに対してリコールリクエストが発行されると、1つの貸与の期日が変更されます。他のユーザーは貸与を更新し続けることができます。ただし、「更新不可 - アイテムにリクエストがあります」ブロックポリシーがブロックに設定されている場合、同じアイテムの他の貸与は貸与の更新がブロックされます。[ブロックプレファレンスの設定](#)を参照してください。

リコールが発行されると、貸与状況通知レターがユーザーに送信されます。レターは無効にすることができます（「[Almaレターの設定](#)」を参照）。レターは、ユーザーがオプトイン/オプトアウトすることもできます（「[図書館通知のオプトインの設定](#)」を参照）。レターは、[更新/ユーザーへの通知](#)ジョブで一連のユーザーに対してオプトイン/オプトアウトすることもできます。「[選択されたユーザーレター](#)」も参照してください。リコールされた貸与を持つユーザーの期日を機関が変更しない場合、リコールレターは無効になるのが最も一般的です。レターの詳細については、[Almaレターの設定](#)を参照してください。